

令和 8 年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練
訓練施設等設置・撤去等業務委託仕様書

令和 8 年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練佐賀県実行委員会

1 委託業務の名称

令和8年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練に係る訓練施設等設置・撤去等委託業務

2 業務を委託する期間

契約締結の日から令和8年11月30日（月）まで

3 訓練実施日

令和8年10月24日（土）・10月25日（日）

4 訓練実施場所

- ・旧唐津発電所 唐津会場（唐津市二タ子3丁目213番地）
- ・福田5号護岸 伊万里会場（伊万里市黒川町福田字米島1115番4）

5 宿営実施場所

- ・松浦河畔公園（唐津市原1774番地1他）
- ・七ツ島南ふ頭（伊万里市黒川町塩屋字七ツ島5番40）

6 業務内容等

- （1）訓練に係る看板の設置及び撤去
- （2）訓練会場（訓練関係施設とその周辺）設営及び撤去
- （3）訓練で使用する物品の調達 等

※各業務内容の細目は別添資料を参照のこと。

7 成果物

訓練施設等の設置作業の前後及び、撤去作業の前後の写真（媒体任意）

8 その他

- （1）旧唐津発電所（唐津会場）の土砂は、唐津市竹木場の土砂を使用し、訓練後は元へ戻すこと。（廃棄物処理する土砂を除く。）
- （2）福田5号護岸 伊万里会場の土砂は、会場（現場内）の土砂を使用し、訓練後は現状復旧すること。
- （3）会場設営に係る物品の数量等については、契約後、変更の可能性がある。
- （4）作業工程については、契約後、発注者との打ち合わせ（関係機関も含む）により決定（作成）する。
- （5）その他必要事項については、発注者との協議のうえ決定する。

法面崩落救出訓練施設仕様書

令和8年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

唐津会場

訓練施設概要

訓練名称	法面崩落救出訓練
提出本部	佐賀広域消防局
訓練施設	
材 料	訓練資器材一覧 参照
概 要	訓練イメージ(図面1、図面2 参照)
	【擁壁エリア】 ・訓練会場東側の既存出入口に車両の進入を制限するようロープを張る(図面3参照)。
	【土砂エリア全体】 ・幅約5mの道路を想定した通路をロープ等で表現する(図面4参照)。 ・通路の入口から約20m毎に3か所の土砂エリアを作成する(図面4参照)。
	【第1土砂エリア】 ・通路の入口から約20mの位置に幅約5m、奥行約5m、高さ約1mの土砂を山積すること(土砂の中には竹、生木、枯草、枯れ木、岩石等を混ぜ込むこと)。 ・訓練車両1台を埋没させること(図面5車両想定詳細図参照)(その他車両は土砂外)。 ・要救助者を設定すること(図面5車両想定詳細図参照)。 ・ドラム缶を1個埋設させること。
	【第2土砂エリア】 ・第1土砂エリアから約20mの位置に幅約5m、奥行約5m、高さ約1mの土砂を山積すること(土砂の中には竹、生木、枯草、枯れ木、岩石等を混ぜ込むこと)。 ・訓練車両2台を埋没させること(図面4車両想定詳細図参照)。 ・要救助者を設定すること(図面4車両想定詳細図参照)。
要救助者	ダミー4体、生体3人 合計 7人(発注者保有のものを使用)
備考	※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整
	※土砂に混ぜ込むものは、現地にて調整

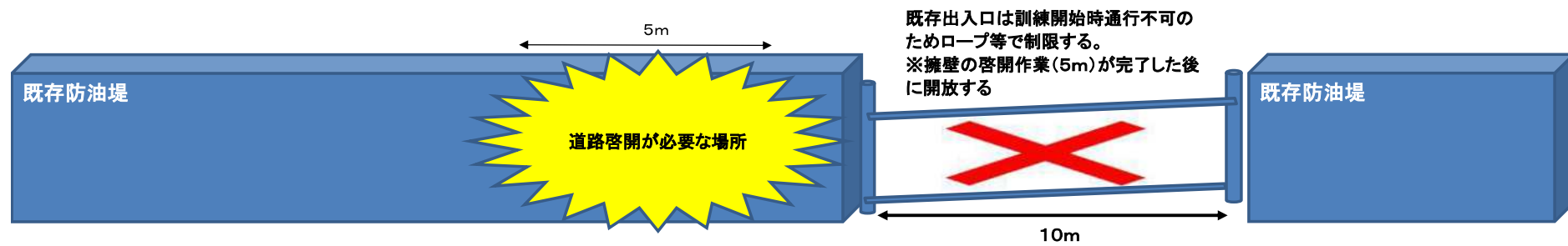
図面 1 災害イメージ図



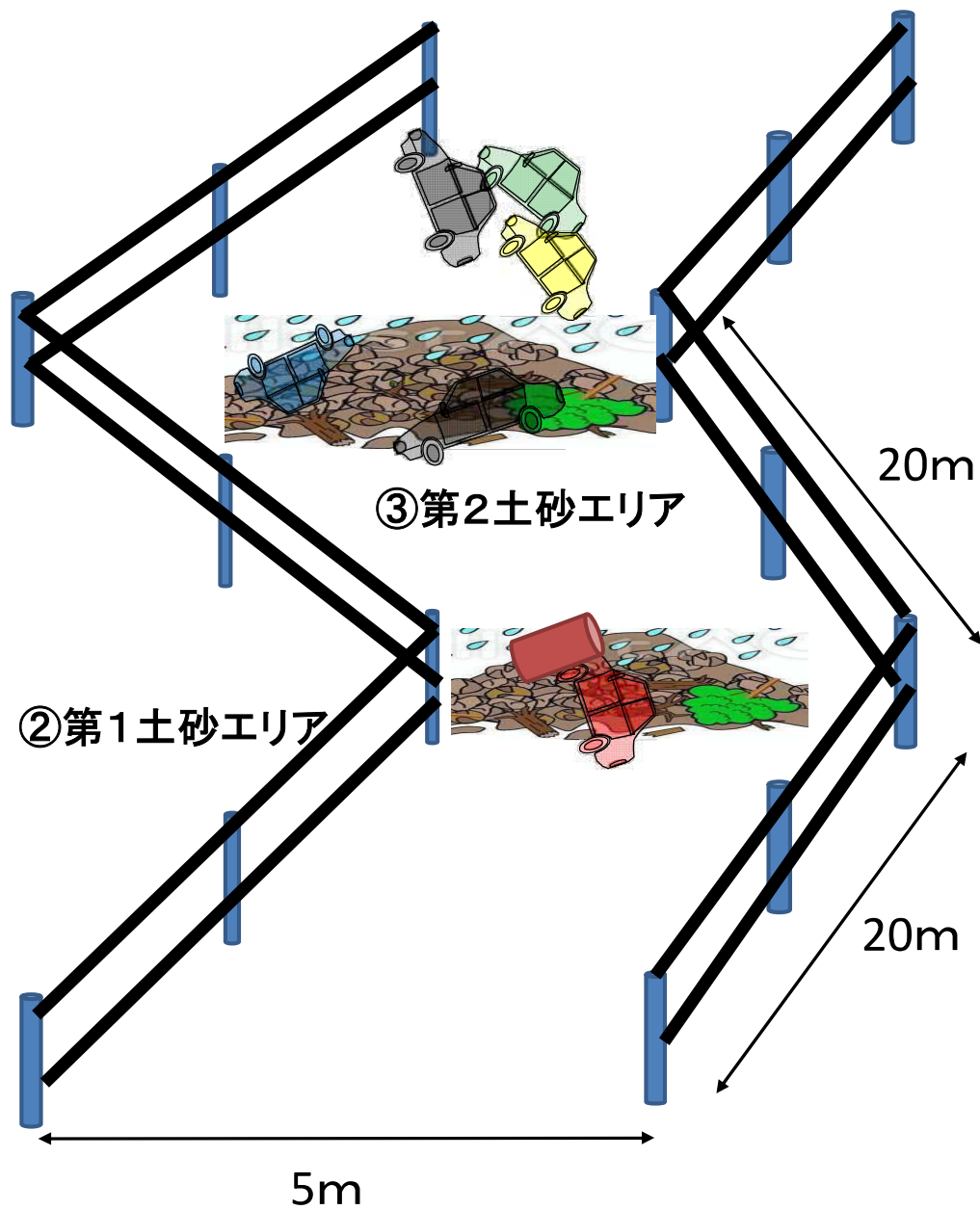
図面2 訓練施設概要図



図面3 訓練施設詳細図1（擁壁エリア）



図面4 訓練施設詳細図（土砂エリア全体図）



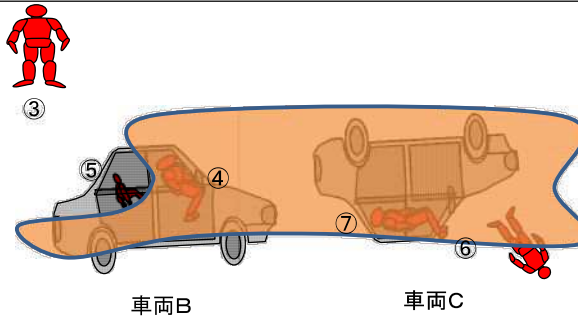
図面5 土砂エリア想定詳細図

第1土砂エリア 詳細



- ・ガソリンを入れたドラム缶を積載した軽トラックが半分ほど埋没している。
- ・車外に要救助者1名(要救助者①)
- ・周囲にガソリン臭あり。
- ・助手席に要救助者1名(要救助者②)
- ・車内に土砂が流入
- ・助手席前にドラム缶があり、ドア開放の障害となっている。

第2土砂エリア 詳細



【車両B】

- ・車両前半分が土砂に埋没している。
- ・車内に土砂が流入。
- ・車外に負傷した要救助者1名(要救助者③)
- ・助手席に要救助者1名(要救助者④)
- ・後部座席にチャイルドシートに座った乳児1名(要救助者⑤)。

【車両C】

- ・乗用車が転覆した状態で埋没
- ・窓から内部は視認できない。
- ・窓ガラスが割れ、内部に土砂流入に土砂が流入
- ・車外に出ていた車両Cの運転手が埋没(要救助者⑥)
- ・転覆した車内に要救助者1名(要救助者⑦)

自立式看板



訓練資器材一覧

品名	サイズ	数量	単位	備考
擁壁エリア				
杭	2m	4	本	進入制限用
ロープ	40m	1	本	進入制限用トラロープ
土砂エリア道路				
杭	単管パイプ等	20	本	道路標示用
ロープ	100m	4	本	道路標示用トラロープ
第1土砂エリア				
土砂	5m × 5m × 1m	25	m ³	搬入・搬出、処理含む
混入物	ドラム缶	1	個	200L(水を満水)
	ガソリン携行缶	2	個	20L(水を満水)
	竹、生木、ガレ、枯木、枯草	適量		現地で調達可能なものを使用すること。
第2土砂エリア				
土砂	5m × 5m × 1m	25	m ³	搬入・搬出、処理含む
混入物	竹、生木、ガレ、枯木、枯草	適量		現地で調達可能なものを使用すること。
塩ビパイプ	φ 10cm × 4m	1	本	
訓練用車両	搬送車	1	台	軽トラック可
訓練用車両	普通乗用車	5	台	軽自動車可、うち1台チャイルドシート付
自立式立看板	450 × 1800	1	台	法面崩落救出訓練

トンネル内多重衝突事故救出訓練施設仕様書

令和8年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

唐津会場

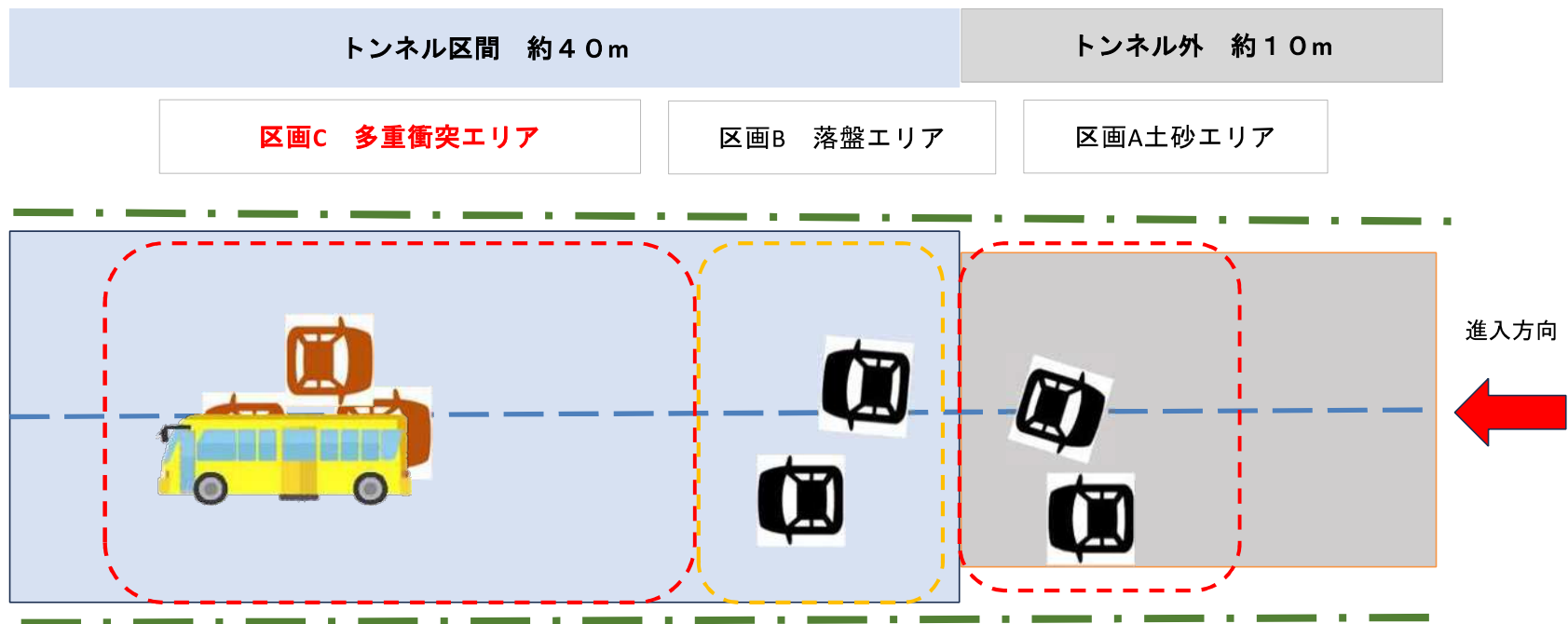
訓練施設概要

訓練名称	トンネル内多重衝突事故救出訓練
提出本部	鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部
訓練施設	
材 料	訓練資器材一覧 参照
概 要	訓練イメージ(図面1～4 参照)
	自動車専用道路及びトンネル入口を作成する。
	(区画A)トンネル外には車両2台が土砂に埋没している状態とし、車両内に要救助者を配置して土砂を覆い被せる。
	(区画A)トンネル入り口部分は、土砂及び草木を用いて土砂が崩れ道路を塞いでいる表現をする。
	(区画B)トンネル入口から進入した区画B部分に、トンネル天井のコンクリートが崩落して車両2台の上部に落下している状態を表現する。
	(区画B)車両2台は上部を潰して、その上からコンクリートを載せることとする
	(区画C)マイクロバス及び車両3台の多重衝突事故を表現する。マイクロバスは横転した状態で上部からの進入のみとし、開口部を1～2か所設ける。上面は隊員が活動を行うため補強する。
	(区画C)他の車両3台についても、車両想定詳細図のとおりとする。
	(区画C)トンネル内部分のマイクロバス及び車両3台は模擬車両でも可とする。
	(共通) 車両工作等については、契約業者が実施するものとする、
要救助者	ダミー25体程度(発注者保有のものを使用)
備 考	※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整
	※土砂に混ぜ込むものは、現地にて調整

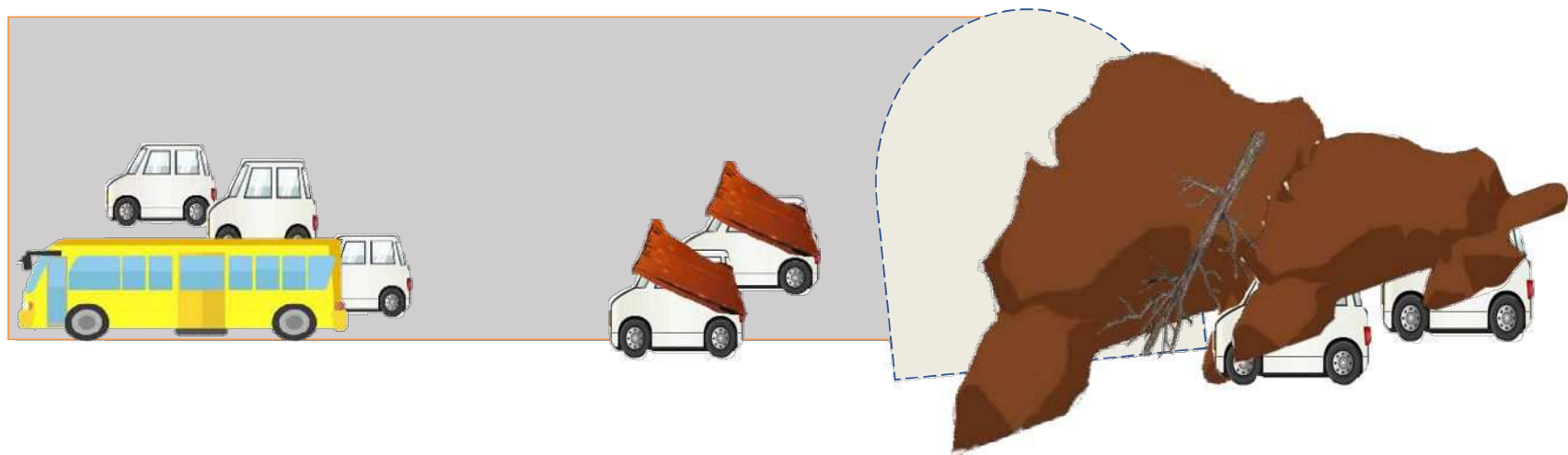
図面1 全体図(イメージ)



図面2 平面図

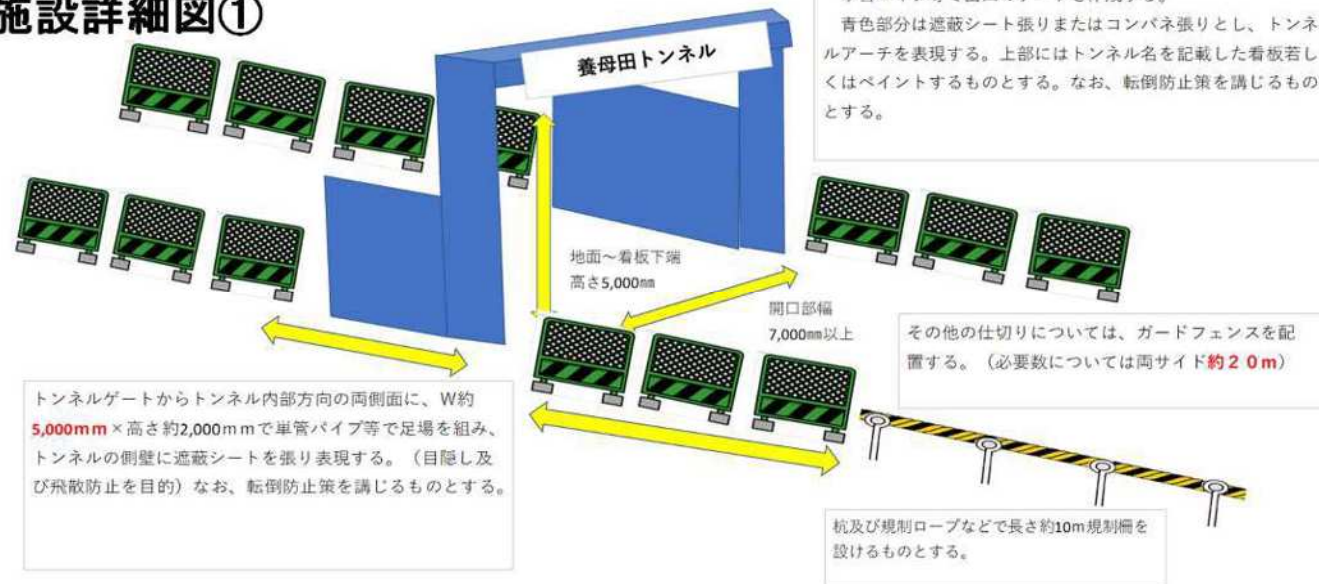


立体図

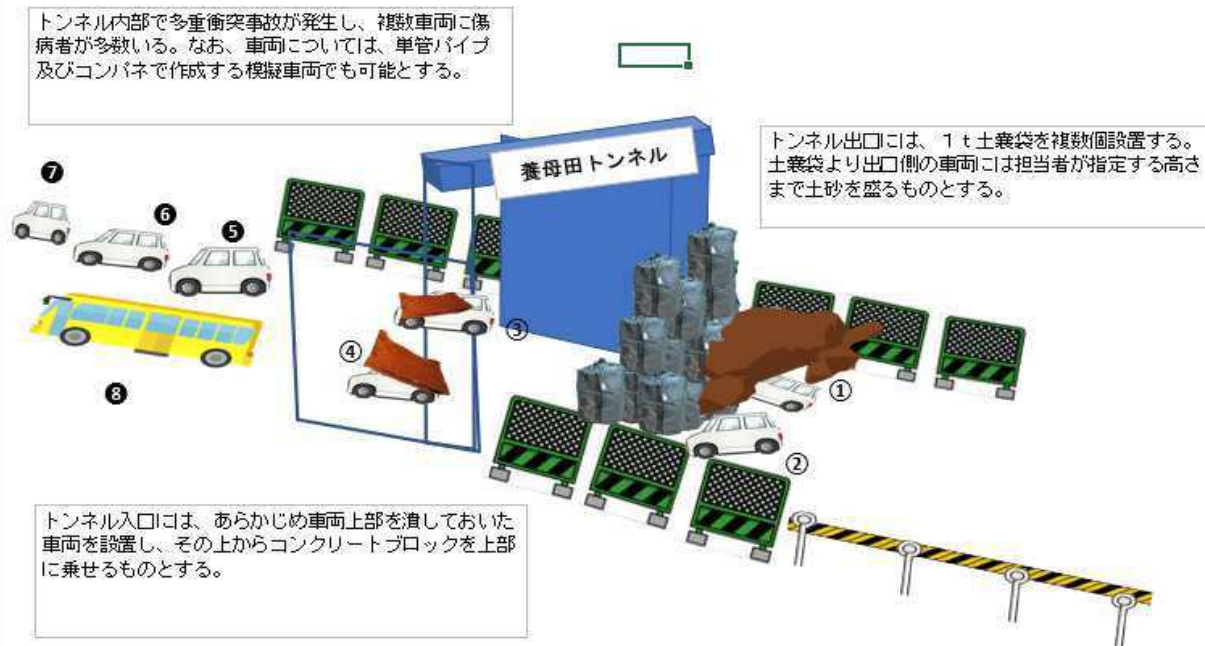


図面3

施設詳細図①

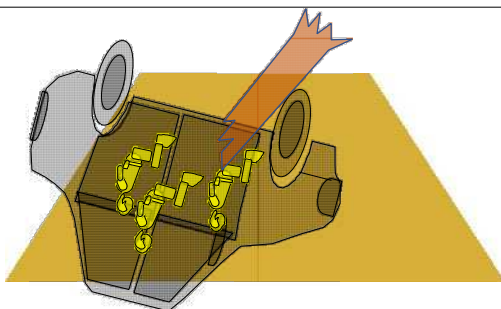


施設詳細図②

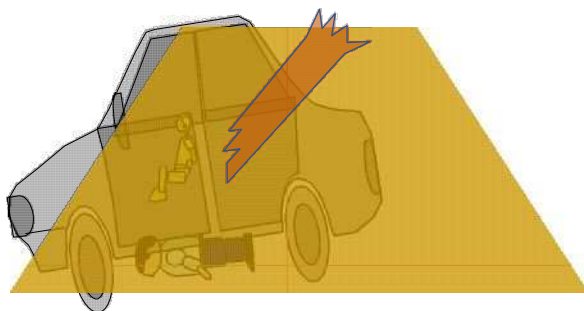


車両想定詳細図

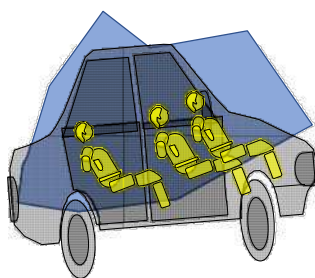
車両① 詳細 車両が転覆し土砂に埋もれている。要救助者3名(車内)。



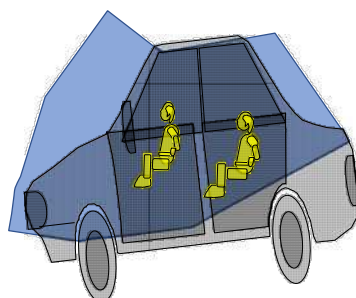
車両② 詳細 車両が土砂に埋もれている。倒木が車両後方から刺さっている。要救助者2名(車内／車外)。



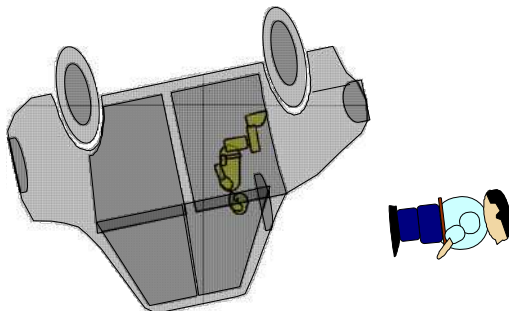
車両③ 詳細 車両の上に車両が被さっている。要救助者3名(車内)。



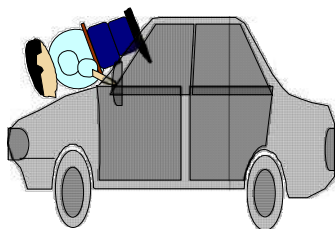
車両④ 詳細 車両の上に車両が被さっている。要救助者2名(車内)。



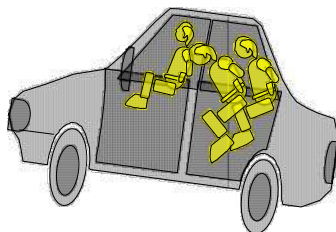
車両⑤ 詳細 車両が転覆している。要救助者2名(車内／車外下敷き)。



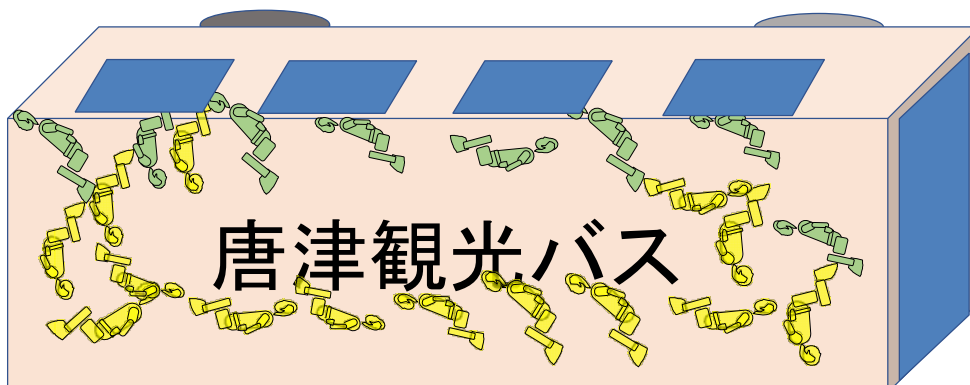
車両⑥ 車両が横転しバスに衝突している。フロントガラスから要救助者が一部飛び出している。要救助者1名。



車両⑦ 詳細 車両が横転しバスに衝突している。要救助者3名(車内で2名が挟まれている)。



車両⑧ 詳細 大型バスが横転してトンネル側部に衝突している。進入は上部からのみ。
車内に乗車員の要救助者が21名いたが、軽症～中等症者の8名が自力で脱出して、唐津市消防団が搬出中



自立式看板



訓練資器材一覧

品名	サイズ	数量	単位	備考
トンネル枠組みトンネル表現用シート	別添資料1、2、3参照			
トンネル内外埋没車両	車両(出来れば普通乗用車5台、無ければ軽乗用車) 車両がない場合は、模擬車両等	7	台	
トンネル内外埋没車両	廃車マイクロバス(車両がない場合は、模擬車両等)	1	台	
コンクリートブロック	トンネル内配置用 (1000mm×1000mm×200mm)	2	個	
トンネル外土砂＊1m ³ 土嚢袋含む		30	m ³	搬入・搬出、処理含む
トンネル側壁用ガードフェンス	1.8m×1.8m トンネル側壁用(両サイド)	20	枚	
ガードフェンス用錘	ガードフェンス用錘(ブロック)	10	個	
鉄杭	活動区域表示用	22	本	
標識ロープ	100m	2	本	
カラーコーン、ウエイト	訓練現場入口表示用等	30	個	
カラーコーン用バー	訓練現場入口表示用等	17	本	
ラインカー	車線表示用 (ライン幅5cm)	1	台	
グラウンドライン用炭酸カルシウム粉	車線表示用	20	kg	
ブルーシート	・車両下敷き用(7.2m×7.2m)車両ガラス飛散防止に使用 ・汚泥池用	12	枚	
遮蔽シート等又はブルーシート	トンネル側壁目隠し用(10m×2m)	4	枚	
透明テープ	50mm×100m (車両窓ガラス飛散防止若しくは窓ガラス表現用に使用)	5	個	
自立式立看板	450×1800	1	台	トンネル内多重衝突事故救出訓練

大規模土砂埋没救出訓練

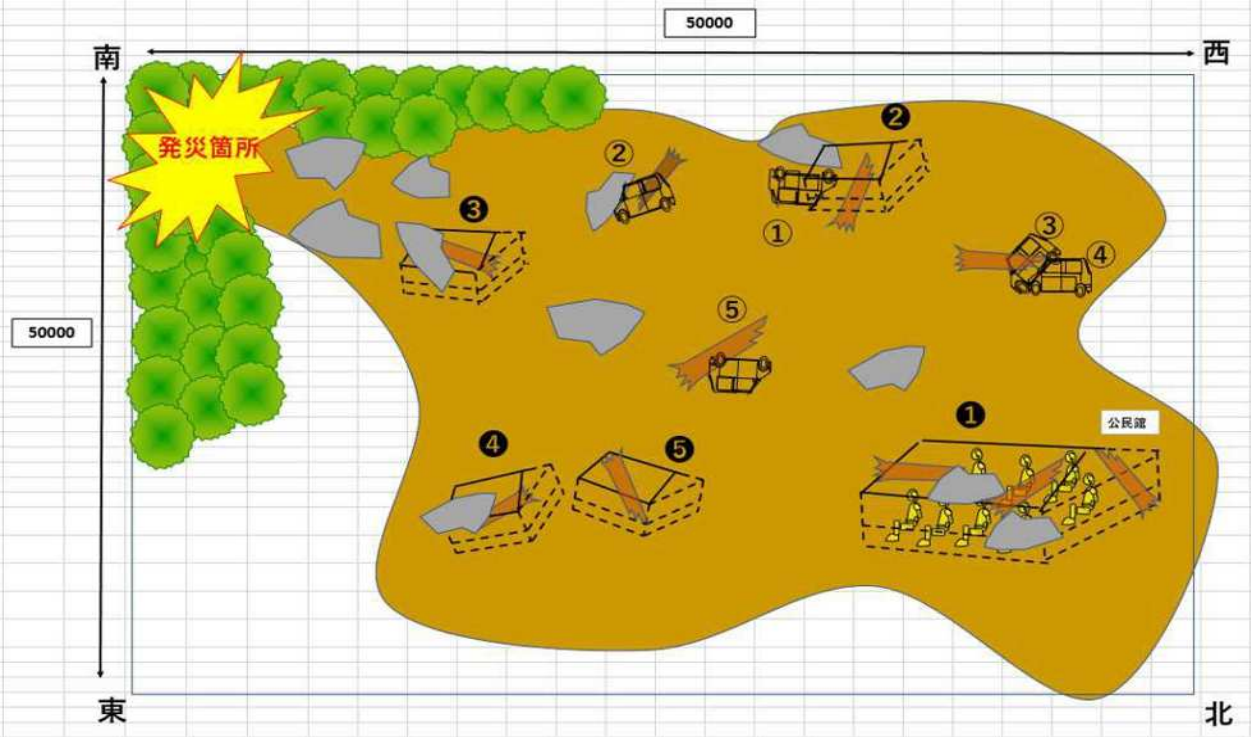
令和8年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

唐津会場(大規模土砂埋没救出訓練)

訓練施設概要

訓練名称	大規模土砂埋没救出訓練
提出本部	唐津市消防本部
訓練施設	
材 料	訓練資器材参照(単管パイプ、合板、乗用車、軽自動車、丸太(廃材)、土砂、岩等)
概 要	訓練イメージ(図面1～3参照)
	鉄骨建物を作成する。(図面2参照)
	建物の骨組みは、単管パイプ若しくはそれと同類のもので作成し、壁等に使用する合板は中古品またはベニヤ板とする。
	屋根及び床面にあっては隊員が活動するため2～3人(250kg程度)乗れる強度を要する。
	屋根の一部(西側合板1枚程度)、床面(西側合板1枚程度)打付けずにダミー、土砂等の搬入に使用する。
	公民館 建物の埋没は、屋根部分が地表に出ている状態にする。(図面2参照) 壁の1面に窓に見せた開口部900×600を2つ設定する。(図面2参照) 壁の1面にドアに見せた開口部900×1800を設定する。(図面2参照) 内部に樹木交じりの土砂を半分ほど入れ、岩を大小3個程入れる。(図面2参照) 内部にダミーを8体入れる。(図面2参照) 岩やダミーの配置位置については会場設定時に調整する。
	住宅(①～④) 全て同じ寸法で作成する。(図面2参照) 壁の1面にドアに見せた開口部900×1800を設定する。(図面2参照) 壁の1面に窓に見せた開口部900mm×600mmを設定する。(図面2参照)
	住宅① 転覆した車両が住宅の壁を突き破り、半分ほど入り込んでいる。(図面1参照) 車両のフロント部分に要救助者が下敷きになっている。(図面2参照) 住宅内に土砂が半分ほど堆積し、岩1個、樹木が数本入っている。
	住宅② 住宅内に土砂が半分ほど堆積し、中に岩が1個埋没している。(図面2参照) 要救助者は計3名。1名は床下に仰向けで埋没、1名は土砂から右手部分のみでている、もう1名は土砂には埋まっていないが樹木の下敷きになっている。(図面2参照)
	住宅③ 住宅全体が土砂に埋まっており、屋根の一部のみ見えている状態。(図面2参照) 屋根の上に岩が1個乗っている。(図面2参照) 樹木が住宅の壁を突き破っている。(図面2参照) 住宅内は完全に土砂で埋まっており、中には岩が3つ、樹木が3本埋没している。(図面2参照) 要救助者はなし。(図面2参照)
	住宅④ 住宅全体が土砂に埋まっており、屋根の一部のみ見えている状態。(図面2参照) 樹木が屋根を突き破って刺さっている。(図面2参照) 樹木が住宅の壁を突き破っている。(図面2参照) 住宅内は完全に土砂で埋まっている。(図面2参照) 要救助者は顔部分が窓から出ている状態で、右大腿部に細い樹木が刺さっている。(図面2参照)
	建物と車両は単体で設定するものと複合的に設定するものと組み合わせる。(図面1参照)
要救助者	ダミー25体程度(発注者保有のものを使用)
備 考	※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整
	※土砂に混ぜ込むものは、現地にて調整

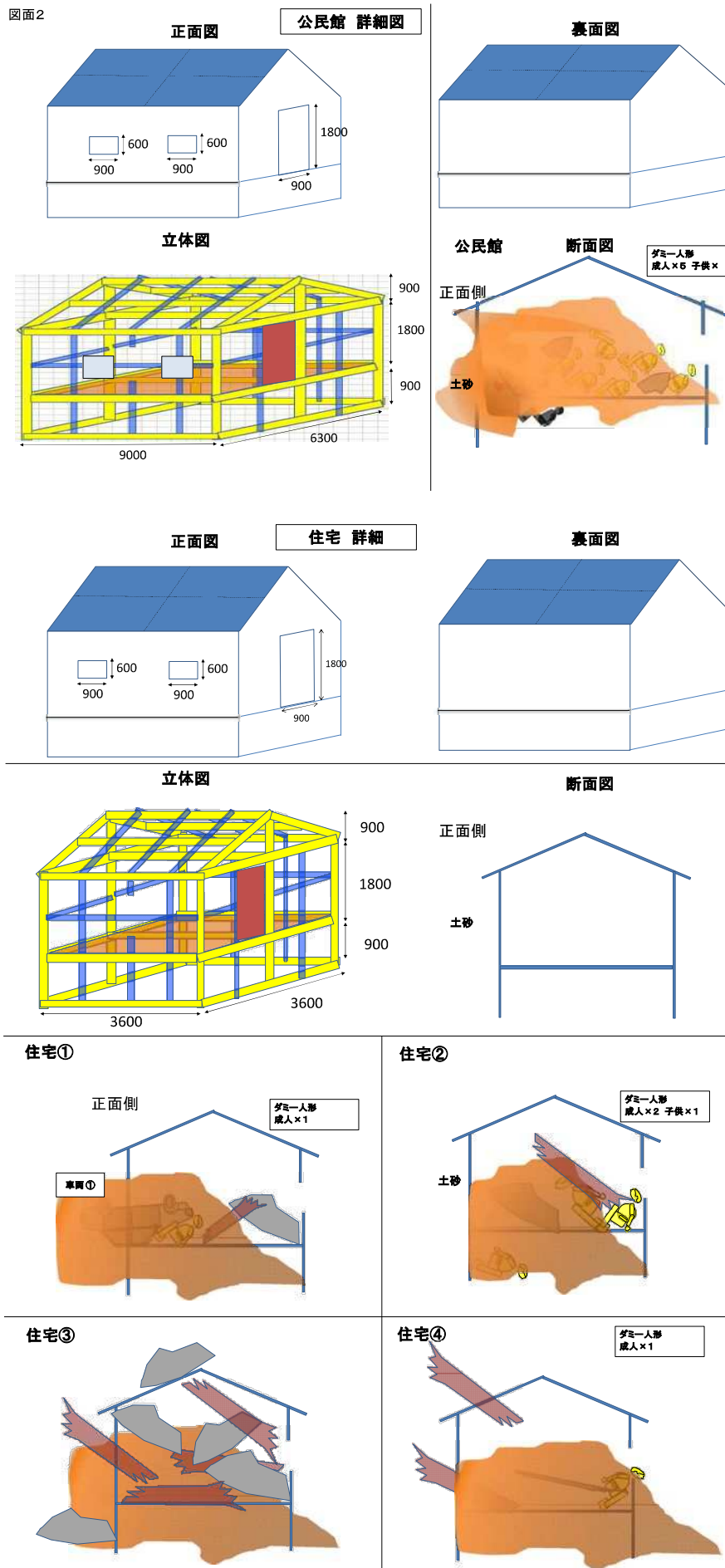
図面1 全体図(イメージ)



倒壊家屋 5戸(公民館含む)
事故車両 5台



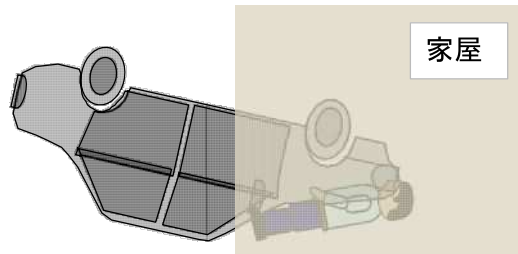
図面2



図面3

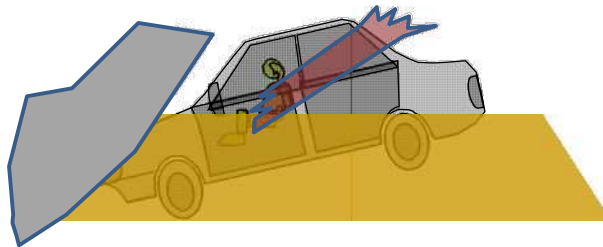
車両想定詳細図

車両① 詳細 車両が転覆し家屋に入り込んでいる 家屋内に居た人が下敷きになっている
要救助者1名



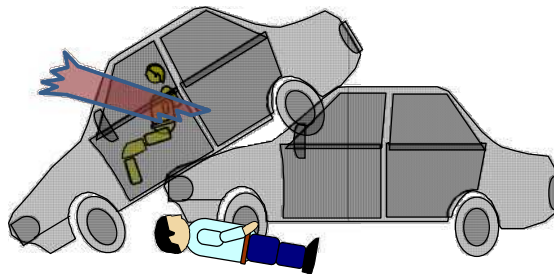
ダミー人形
(住宅②の要救)

車両② 詳細 岩が車両前方を潰し流木が車両後方から刺さっている 要救助者1名



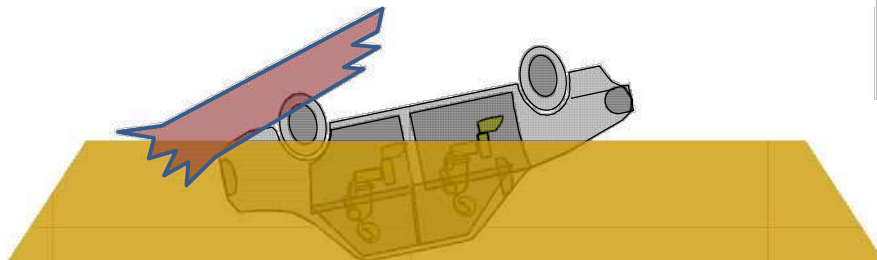
ダミー人形
成人×1

車両③④ 詳細 車両の上に車両が被さっており車内に1名、下敷き1名 要救助者2名



ダミー人形
成人×2

車両⑤ 詳細 車両が転覆し土砂に埋もれている 上に大きな岩あり 要救助者2名



ダミー人形
成人×2

自立式看板



訓練資器材一覽

[illegible]

会場平面図



土砂・岩 堆積イメージ





(唐津)

訓練名称	土砂等堆積に伴う進入路形成訓練
------	-----------------

高さ2m、幅2m、長さ8mの地滑り斜面を土砂で作製。

唐津会場サイト③内に設定し、堆積土砂等撤去及び進入路形成を出動車両の会場進入条件として付与する。
 現地消防団8名が先着し活動中のため、情報共有を行うこと。
 目撃者からの情報により、車両及び人の巻き込まれ無し。

[illegible]

地滑り救出訓練施設仕様書

令和8年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

伊万里会場

訓練エリア



訓練施設概要

訓練名称	地滑り救出訓練
提出本部	伊万里・有田消防本部
訓練施設	
概要	訓練会場の盛土を利用して地滑り災害の現場を作製する。作製する現場は、建物3棟(A棟、B棟、C棟)が土砂に埋もれた状態とし、建物の周囲には土砂等に埋もれた要救助者を想定したダミーを10体を配置する。余震による2次災害の危険がある中での救助活動を実施する。 土砂、岩等は現地調達とする。 建物3棟の詳細な配置については現地で調整する。 訓練イメージ(図面1～6参照) 屋根及び床面は隊員が活動するため2～3人(250kg程度)乗れる強度を要する。 ①建物A棟部分 地滑りにより家屋が押し流され、屋根だけ地表に出た状態で土砂に埋もれている。 家屋の上部には倒木1本、周囲には倒木2本、岩を配置。 家屋の開口部より土砂が流入し、家屋内には要救助者を想定したダミー4体を配置。 ②建物B棟部分 地滑りにより家屋が押し流され、屋根だけ地表に出た状態で土砂に埋もれている。 家屋の上部には倒木1本、岩を配置。 家屋の開口部より土砂、倒木1本が流入し、家屋内には要救助者を想定したダミー3体を配置。 ③建物C棟部分 地滑りにより家屋が押し流され、3面が土砂に埋もれており倒壊の恐れがある。 家屋は倒壊の恐れがあるため、倒壊防止措置を施したのちに救助活動を行うことができる。 家屋の上部には倒木1本を配置。 家屋の開口部より土砂、岩が流入し、家屋内には要救助者を想定したダミー3体を配置。 ④建物の周囲 地滑りにより、土砂等に埋もれて体の一部が見えている要救助者を想定したダミーをパターン1～3のとおり配置する。詳細な場所については現地で調整する。 パターン1: 土砂のみ6体、パターン2: 土砂+倒木2体、パターン3: 土砂+岩2体 パターン1 スコップ等で対応可能な比較的軽量の土砂に要救助者を埋める。 パターン2 パターン1に加えて倒木を配置して活動障害とする。 パターン3 土砂に岩等を混ぜて活動障害とする。スコップのみでは作業困難とする。 ⑤(道路啓開訓練) 地滑りで寸断された道路を作成する。岩、土砂等で道路を塞ぐ。 設置場所については現地で調整する。
要救助者	ダミー20体(発注者保有のものを使用)
備考	※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整
	※土砂に混ぜ込むものは、現地にて調整

図面 1

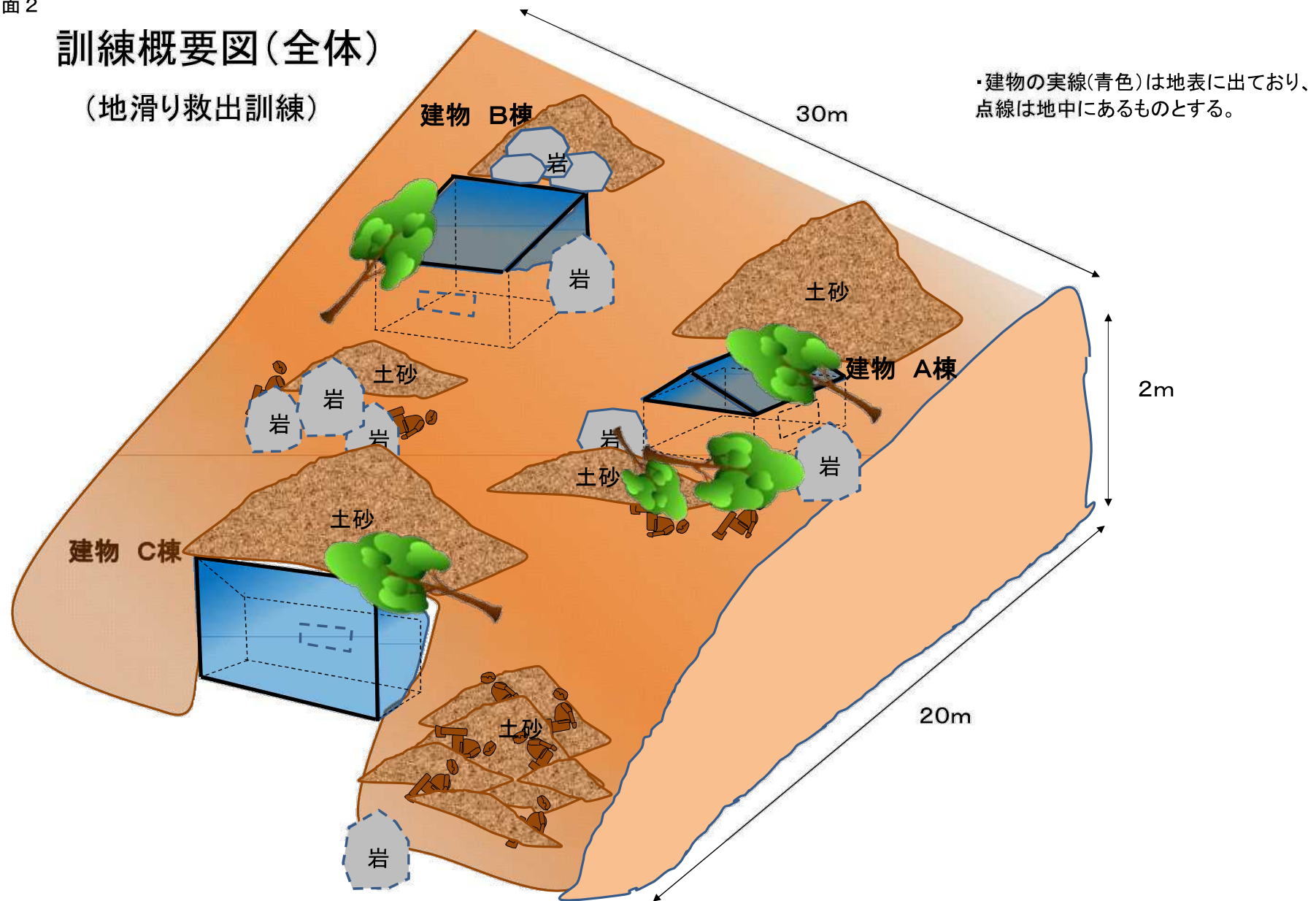
訓練イメージ図



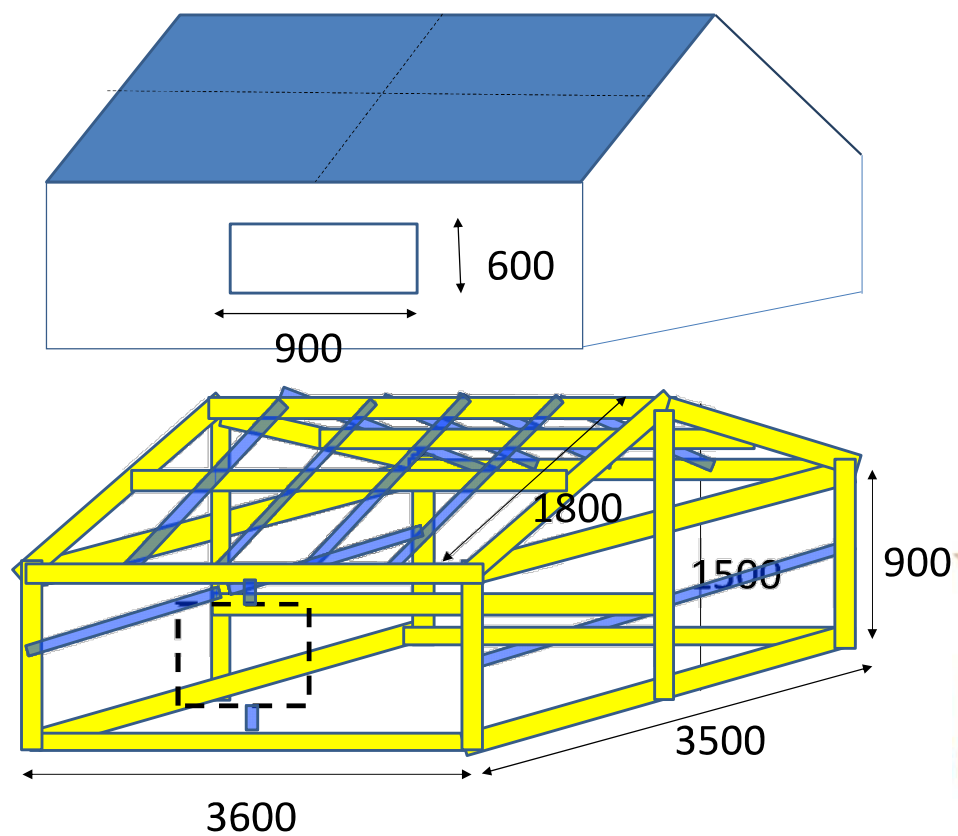
図面 2

訓練概要図(全体)

(地滑り救出訓練)



建物A 詳細

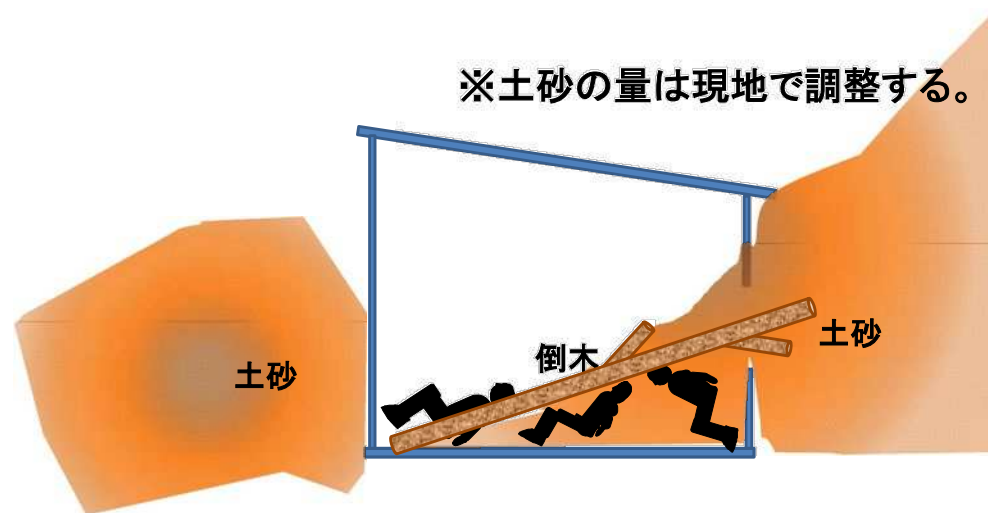
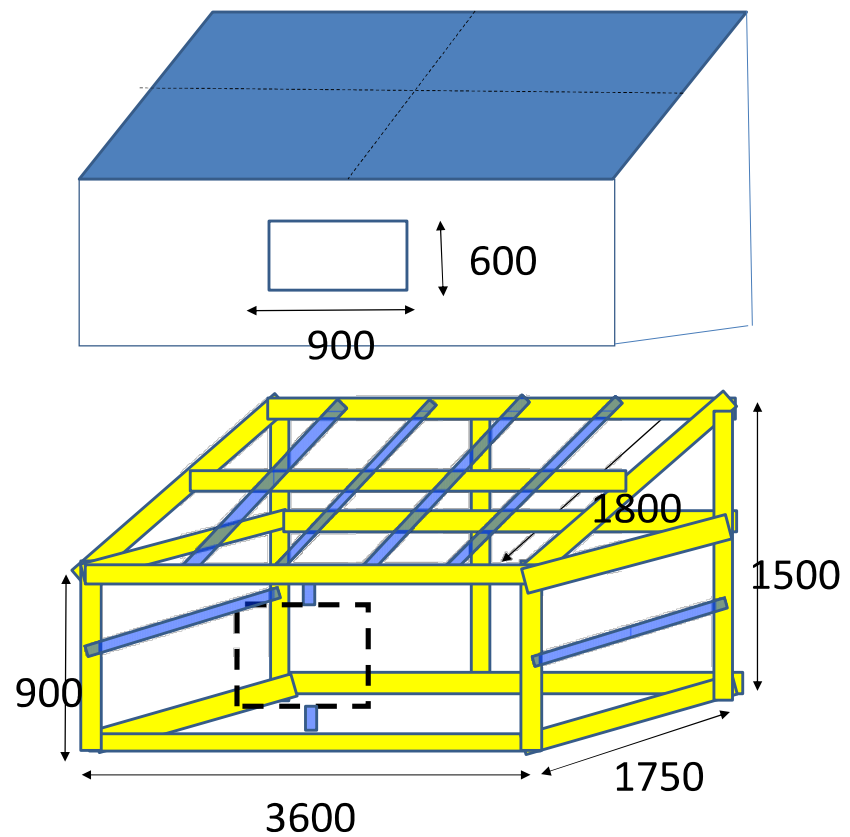


※土砂の量は現地で調整する。

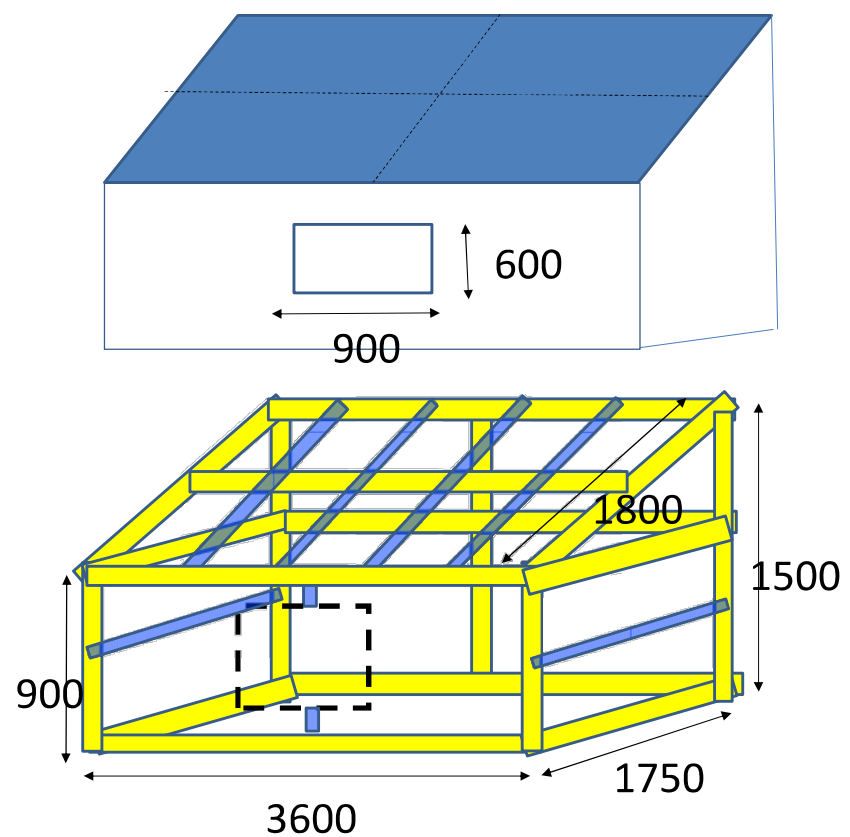


図面 5

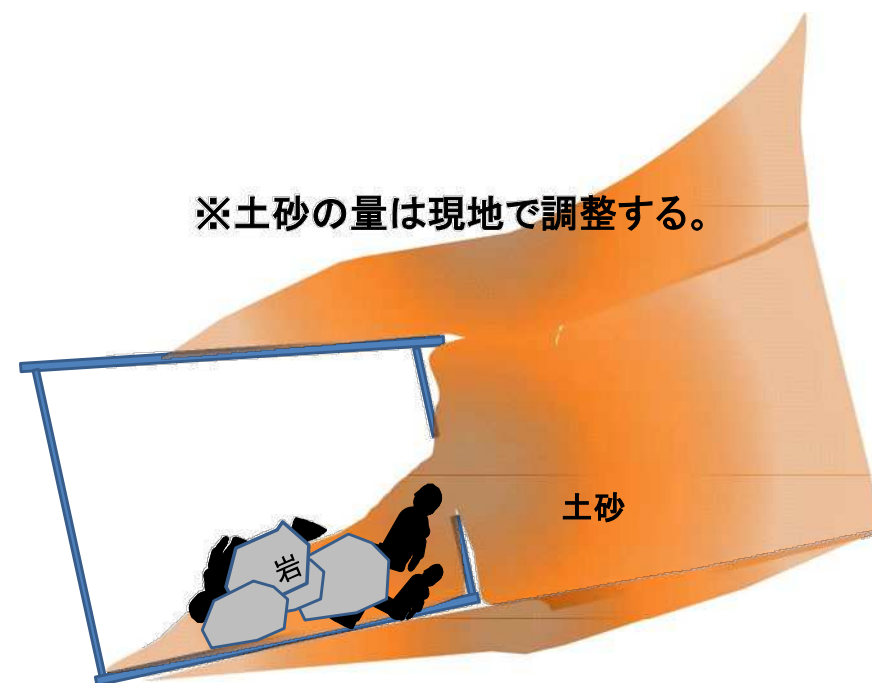
建物B 詳細



建物C 詳細



※土砂の量は現地で調整する。



図面 6

道路啓開訓練



自立式看板



訓練資器材一覽

[illegible]

土砂埋没家屋救出訓練施設仕様書

令和8年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

伊万里会場

訓練施設概要

訓練名称	大規模土砂埋没家屋等救出訓練
提出本部	杵藤地区広域市町村圏組合消防本部
訓練施設	
概要	訓練会場の盛土の傾斜を利用して地滑り斜面を作製。建物3棟(A、B、C)が土砂に埋もれており、余震による2次災害の危険がある現場を作製、建物の周囲には土砂等に埋もれた要救助者を想定したダミーを10体を配置する。土砂、岩等は現地調達とする。 建物2棟の詳細な配置については現地で調整する。 訓練イメージ(図面1～4参照) 屋根及び床面は、隊員が活動するため2～3人(250kg程度)乗れる強度を要する。 ①(倒壊家屋1) 2階部分屋根はコンパネ8枚程度の大きさで陸屋根造りとする。 2階部分の床面は踏板で作製し階段で1階部分と行き来できるようにする。 2階部分に窓に見立てた開口部を単管等で作成し、三連はしごを架梯しても大丈夫な造りとする。 2階部分に住民の要救助者を想定しダミー2体(大人)配置。 1階部分は、土石流により半壊し、土石流が進入したもとする。 土石流とともに木片等が建物壁面沿いに堆積している。 ②(倒壊家屋2) 屋根はコンパネ8枚程度で片流れ屋根造りとする。 壁は全面、屋根から0.9m程度コンパネで覆い内部が見えないように作製。 屋根上に4～5人乗っても壊れない強度とし、2階建屋に隣接する。 屋根はチェーンソー等で開口部を作製できる構造とする。 1階部分に住民の要救助者を想定し3体(大人2体、小人1体)配置。 ③(倒壊家屋の周囲) 土石流と共に流されてきた要救助者を想定し周辺の土石内にダミーを5体程度配置。 ④(埋没) 1.5m級の埋没エリアには、要救助者を2体を土石埋没させる。 要救助者上に土砂内に多数の大石を配置する。 2.0m級の埋没エリアには、要救助者3体を土石埋没させる。
要救助者	ダミー10体(委託者保有)
備考	※施工時疑義がある場合、現地打ち合わせにて調整
	※土砂に混ぜ込むものは、現地にて調整

訓練イメージ図

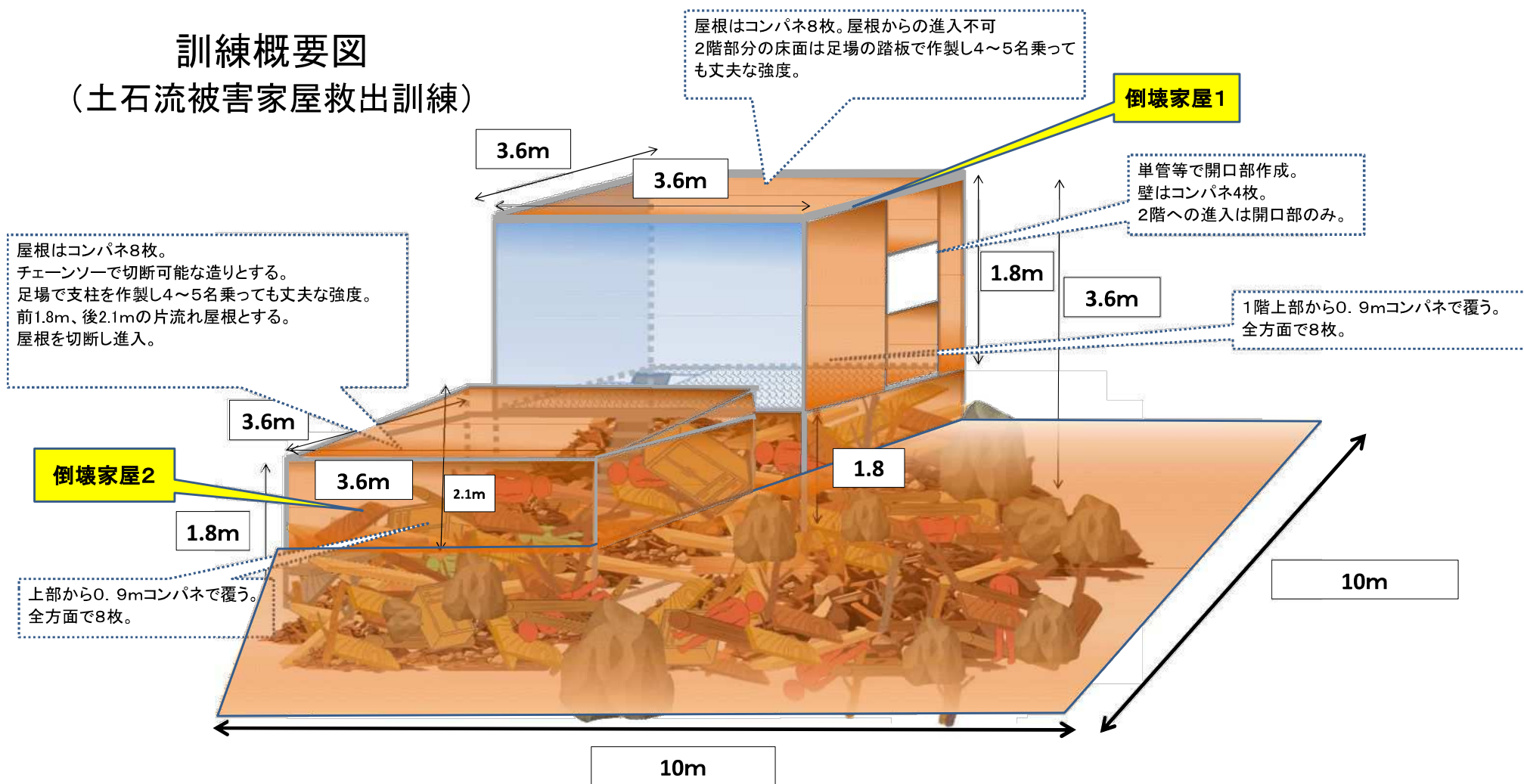


図面1



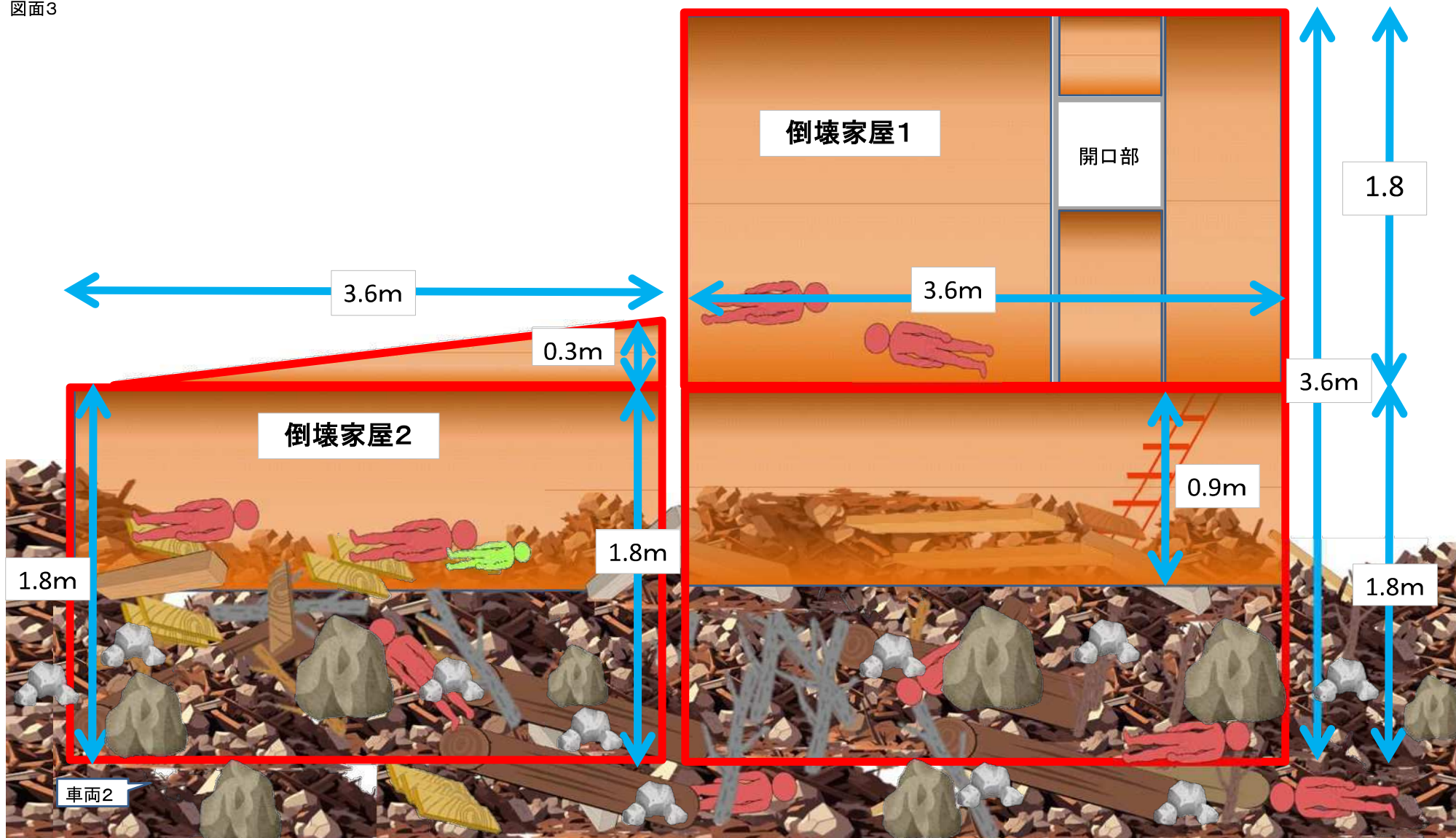
図面2

訓練概要図 (土石流被害家屋救出訓練)



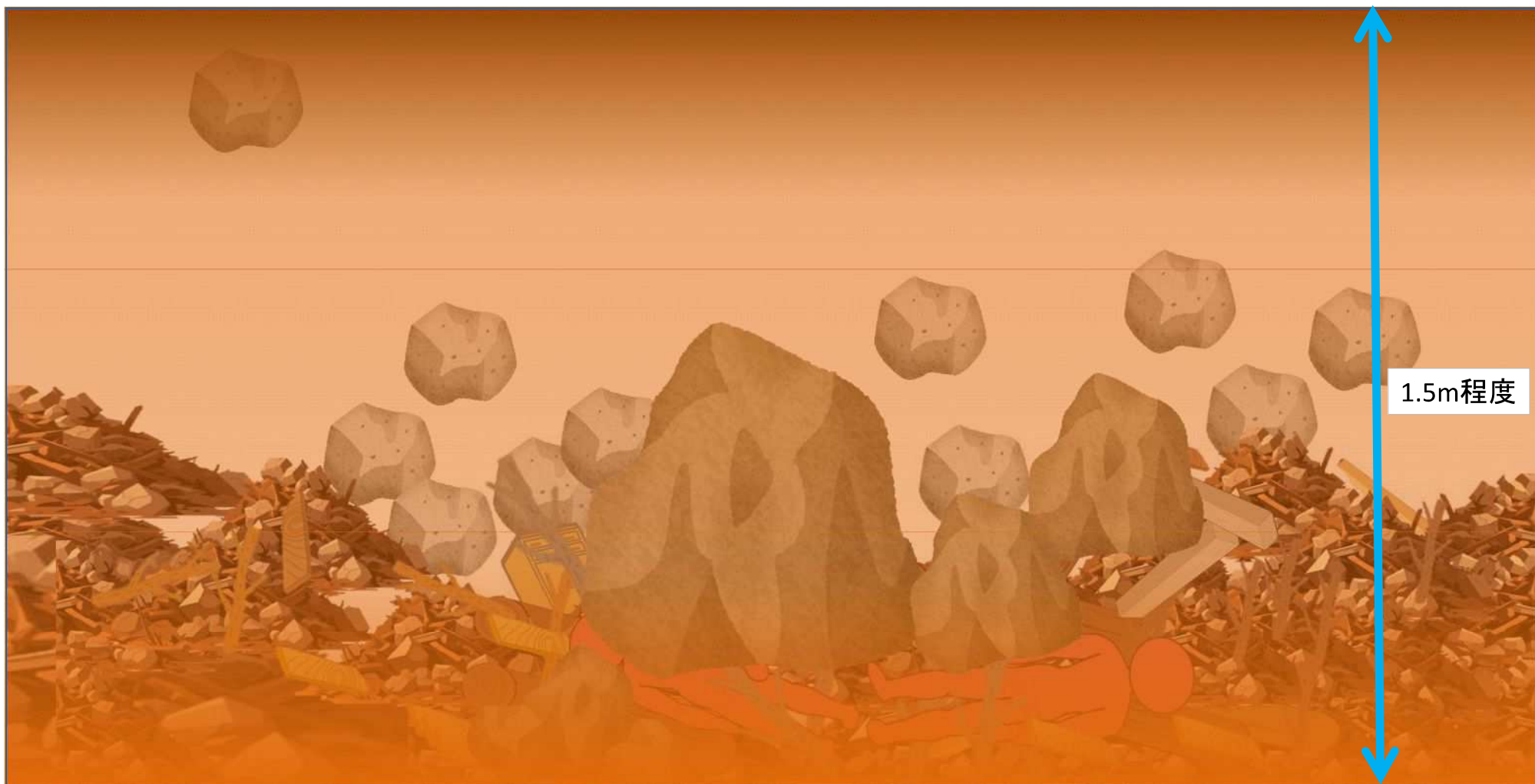
訓練内容:、倒壊家屋1は2階開口部から進入可能、倒壊家屋2は屋根を切断し開口部を作製後進入可能、周辺瓦礫内にも要救助者あり。

図面3



図面4

土砂埋没救出訓練(断面図)



自立式看板



訓練資器材一覽

[illegible]

唐津会場概要

【全体】

この仕様書は、会場設営に係る資材等の運搬、設置（制作を含む）、撤去、原状回復までを含むものとする。

【唐津会場】

- ①看板は固定できない場所については自立式とする。
- ②看板は、※1 及び※2 を除き令和8年10月23日（金）に設置し、合同訓練終了後、速やかに撤去すること。
- ③※1 の看板は合同訓練の1か月前から設置、※2 は合同訓練の1週間前から設置すること。
- ④看板は、合同訓練終了後、速やかに撤去すること。
- ⑤看板、テント表示の設置については、風等により飛ばされないような処置を講ずるとともに、雨が降っても文字が滲んだり、消えたりしないような仕様とすること。
- ⑥看板に記載する文字の書体は、統一とすること。
- ⑦看板設置に伴い許可申請が必要な場合は必ず行い、担当者に報告すること。
- ⑧音響設備については、訓練会場内で音声を確認できるような場所に設置し、各種の配線については、車両が通行しても支障がないような処置を講じること。
- ⑨音響設備については、雨や風に耐えうる処置を講じること。
- ⑩テントは、図4を参照して、設置するものとし、必ず担当者と現地で調整を図ること。
- ⑪テントについては、暴風等に耐えうる処置を必ず講じること。
- ⑫横幕（パーテーション）を付けるテントについては、隣り合うテントを極力寄せることで横幕の数を減らしているため、間隔を空けないこと。
- ⑬テント内は、図5を参照して設置するものとし、細かな調整は、担当者と現地で調整を図ること。
- ⑭仮設トイレは、図7を参考（担当者と協議）に車両の通行の支障にならない場所に設置し、暴風でも倒れることのないよう処置を施しておき、補充用の水については容易に補充できるように必要な物品を準備しておくこと。

また設置位置については、担当者と調整を行うこと。訓練終了後、速やかに撤去すること。

伊万里会場概要

【全体】

この仕様書は、会場設営に係る資材等の運搬、設置（制作を含む）、撤去、原状回復までを含むものとする。

【伊万里会場】

- ①看板は固定できない場所については自立式とする。
- ②看板は、※1 及び※2 を除き令和8年10月23日（金）に設置し、合同訓練終了後、速やかに撤去すること。
- ③※1 は合同訓練の1週間前から設置する。※2 の看板は合同訓練の1か月半前から設置すること。
- ④看板は、合同訓練終了後、速やかに撤去すること。
- ⑤看板の設置については、風等により飛ばされないような処置を講ずるとともに、雨が降っても文字が滲んだり、消えたりしないような仕様とすること。
- ⑥看板に記載する文字の書体は、統一とすること。
- ⑦看板設置に伴い許可申請が必要な場合は必ず行い、担当者に報告すること。
- ⑧大型モニターは、図6を参照し設置するものとし、雨や風に耐えうる処置を講じること。細かな調整は、担当者と現地で調整を図る。
- ⑨仮設トイレ及び手洗い器は、図8を参考（担当者と協議）に車両の通行の支障にならない場所に設置し、暴風でも倒れることのないよう処置を施しておき、補充用の水については容易に補充できるよう必要な物品は準備しておくこと。また、設置位置については、担当者と調整を行うこと。訓練終了後、速やかに撤去すること。

自立式看板

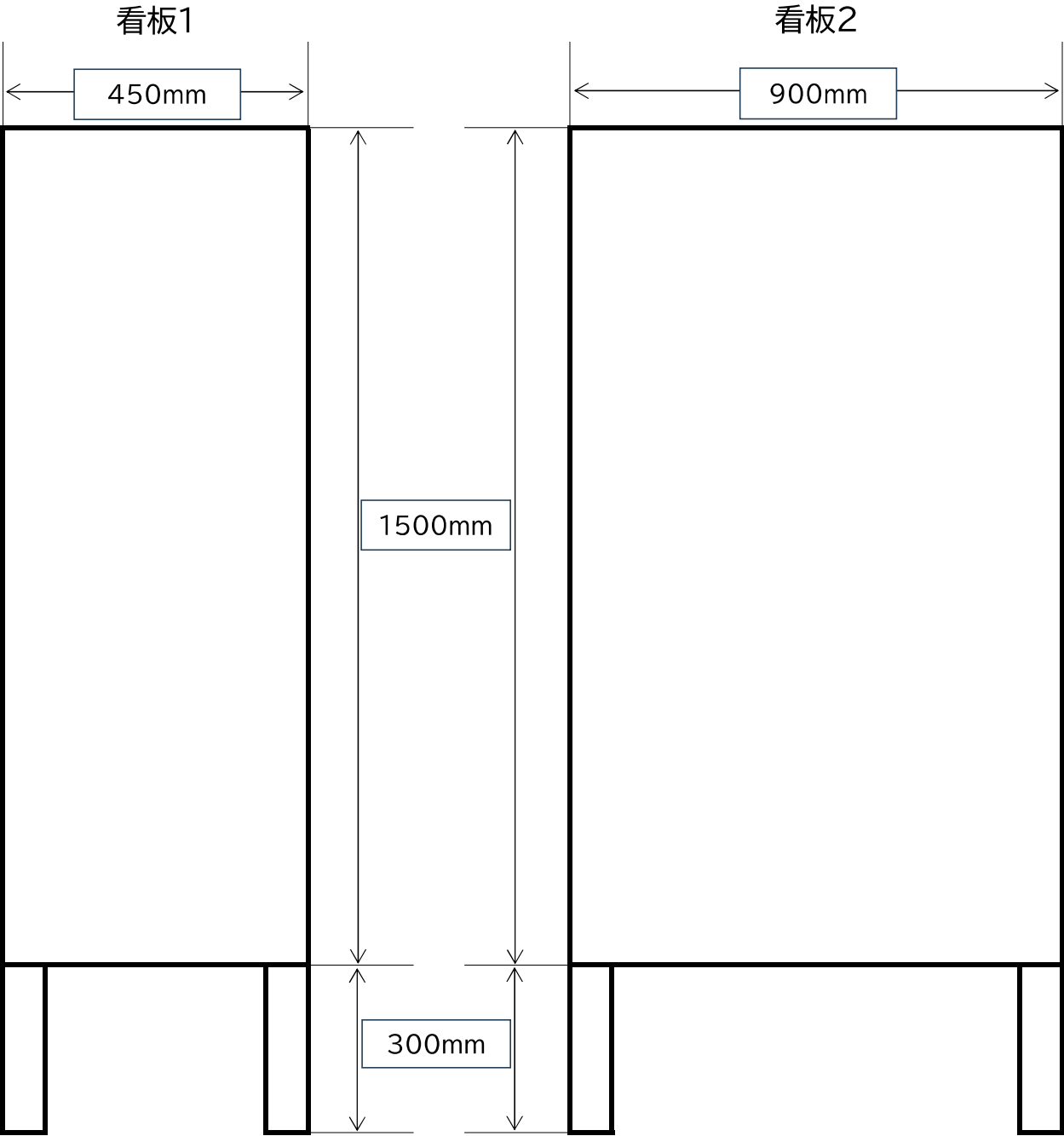


図1 唐津会場全体図（立て看板の位置入り）







共通：令和８年度緊急消防援

九州ブロック合同訓練

- ① 進出拠点兼宿营地
- ② 参観者駐車場
- ③ 進出拠点連絡所
- ④ 燃料補給訓練
- ⑤ 鹿児島県宿营地
- ⑥ 宮崎県宿营地
- ⑦ 沖縄県宿营地
- ⑧ 大分県宿营地
- ⑨ 福岡県宿营地
- ⑩ 訓練待機場所
- ⑪ 唐津会場
- ⑫ 参観者駐車場
- ⑬ 参観者駐車場
- ⑭ 参観者駐車場
- ⑮ 参観者駐車場
- ⑯ 来賓者駐車場
- ⑰ 来賓者駐車場

※１ １か月前から

※２ １週間前から

※３ ２３日から

看板 1 の寸法指定

唐津会場 看板1 (4 5 0 mm×150 0 +足3 0 0 mm)

① 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 進出拠点兼宿营地	② 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	③ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 進出拠点連絡所	④ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 燃料補給訓練	⑤ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 鹿児島県 宿营地	⑥ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 宮崎県 宿营地	⑦ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 沖縄県 宿营地	⑧ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 大分県 宿营地	⑨ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 福岡県 宿营地	⑩ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 訓練待機場所
⑪ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 唐津会場	⑫ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	⑬ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	⑭ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	⑮ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	⑯ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 来賓者駐車場	⑰ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 来賓者駐車場	⑱	⑲	⑳

看板2の寸法指定

唐津会場 看板2 (900mm×1500+足300mm)

※1 ×3

※2 ×1

※3 ×1

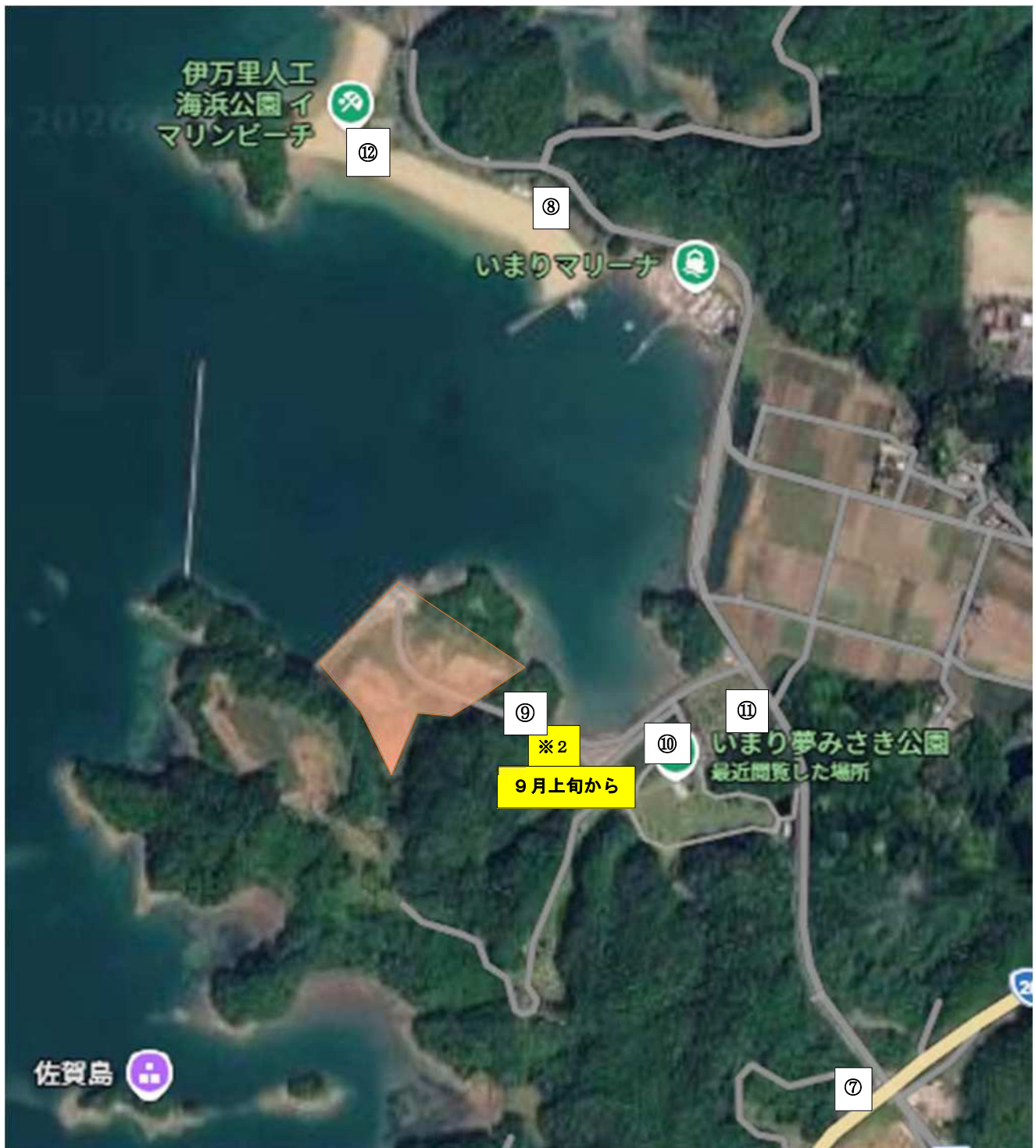
お知らせ	お知らせ	
緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施します。 この先、駐車場に宿营地を建設することから、駐車場の使用制限をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 道路等使用制限日時 令和八年十月二十四日十四時～ 十月二十五日十七時まで 連絡先 佐賀県実行委員会事務局 TEL 0952・25・7026	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施します。 この先の道路等の使用制限をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。 道路等使用制限日時 令和八年十月二十三日九時～ 十月二十五日十七時まで 連絡先 佐賀県実行委員会事務局 TEL 0952・25・7026	令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練（佐賀県開催） 主催 総務省消防庁 佐賀県実行委員会

図 2 - 1 伊万里会場 進出拠点・宿营地周辺
(立て看板の位置入り)



■ 訓練会場を表示

図 2 - 2 伊万里会場 訓練会場周辺
(立て看板の位置入り)



訓練会場

伊万里会場 看板1 (450mm×1500+300mm)

① 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 進出拠点	② 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 進出拠点左折	③ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 進出拠点直進	④ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 長崎県 宿营地	⑤ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 熊本県 宿营地	⑥ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 燃料補給訓練	⑦ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 伊万里会場左折	⑧ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 参観者駐車場	⑨ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 伊万里会場	⑩ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 訓練待機場所
⑪ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 訓練待機場所	⑫ 令和8年度緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練 訓練見学会場	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

※1

※2

お知らせ

緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施します。
この先の道路・エリア等の使用制限をさせていただきます。
きまずので、ご理解とご協力をお願いします。
道路等使用制限日時
令和八年十月二十三日九時～
十月二十五日十五時まで
連絡先 佐賀県実行委員会事務局
TEL 0952・25・7025

お知らせ

緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施します。
この先に訓練施設を建設することから道路・エリア等の使用制限をさせていただきます。
ご協力をお願いします。
道路等使用制限日時
令和八年九月二十三日九時～
十一月六日十七時まで
連絡先 佐賀県実行委員会事務局
TEL 0952・25・7025

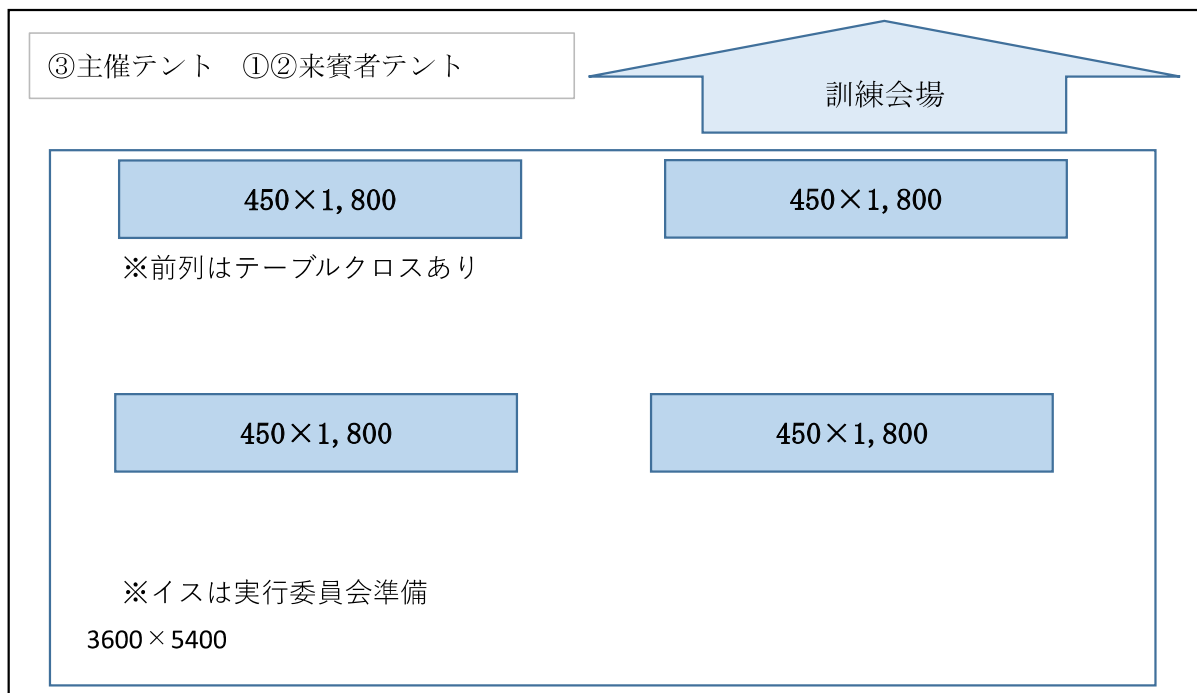
図4 テント位置図

- ①来賓者
- ②来賓者
- ③主催
- ④参観者
- ⑤参観者
- ⑥受付
- ⑦運営本部
- ⑧資材置き場
- ⑨DMAT調整本部
- ⑩唐津市指揮支援本部
- ⑪消防応援活動調整本部
- ⑫消防応援活動調整本部



※⑦～⑫は実行委員会にて設置

図5 テント内図



テント標示（縦書き）（縦400mm×横200mm）

	名称	枚数
1	主催者席	1
2	来賓席	2
3	参観者	2
4	受付	1
5	DMAT調整本部	1
6	消防応援活動調整本部（県庁）	1
7	指揮支援本部（唐津市消防本部）	1
8	指揮支援本部（伊万里・有田消防本部）	1

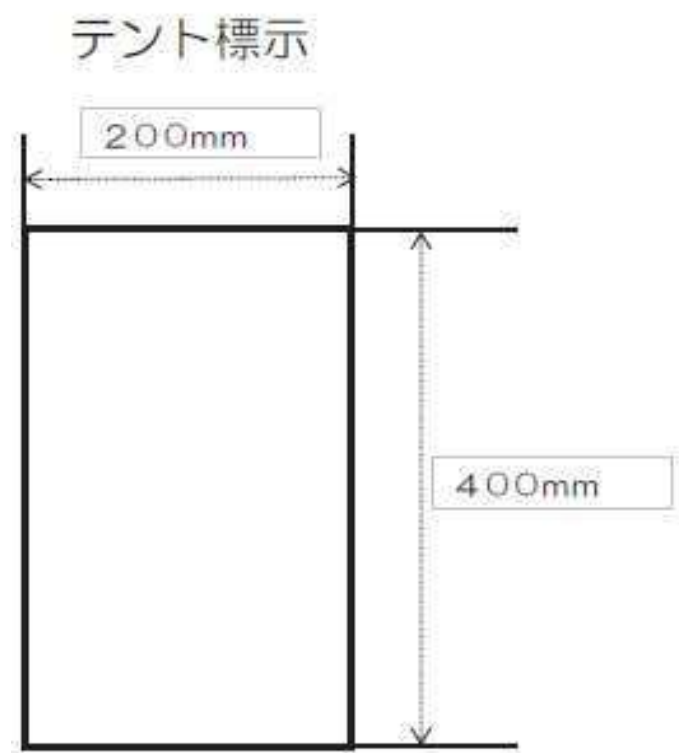


図6 伊万里会場(イマリンビーチ) 大型モニター位置図

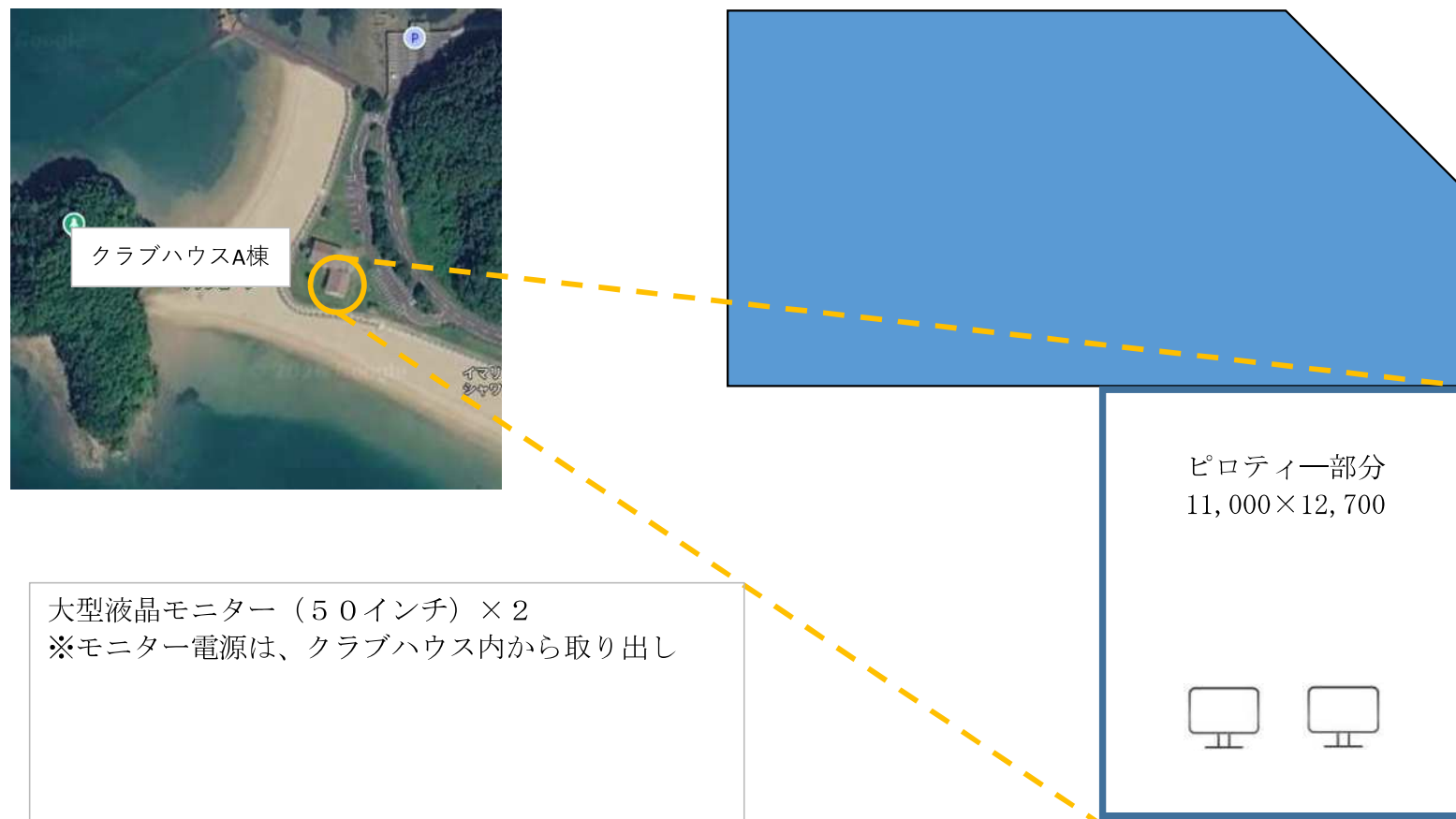
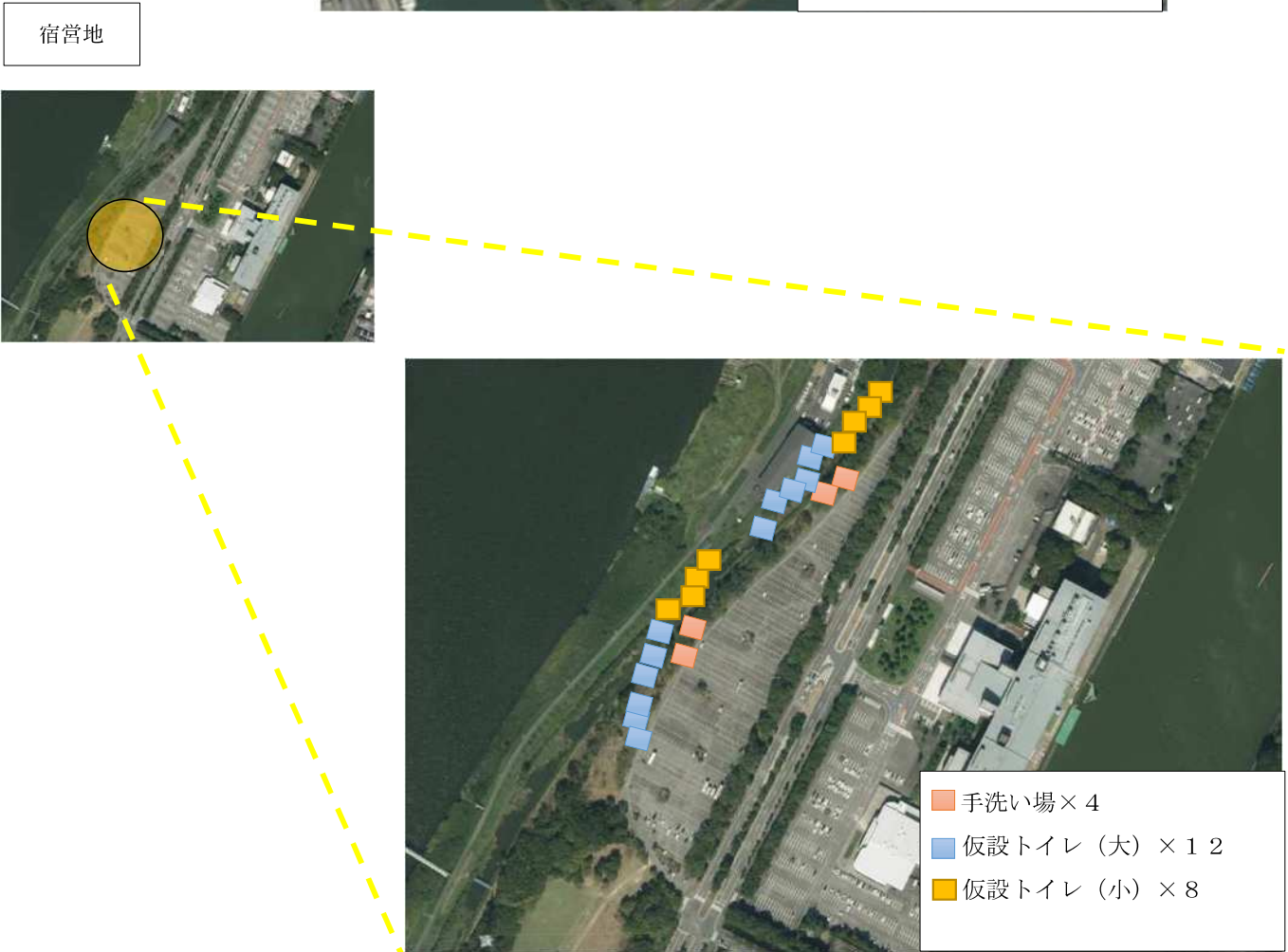
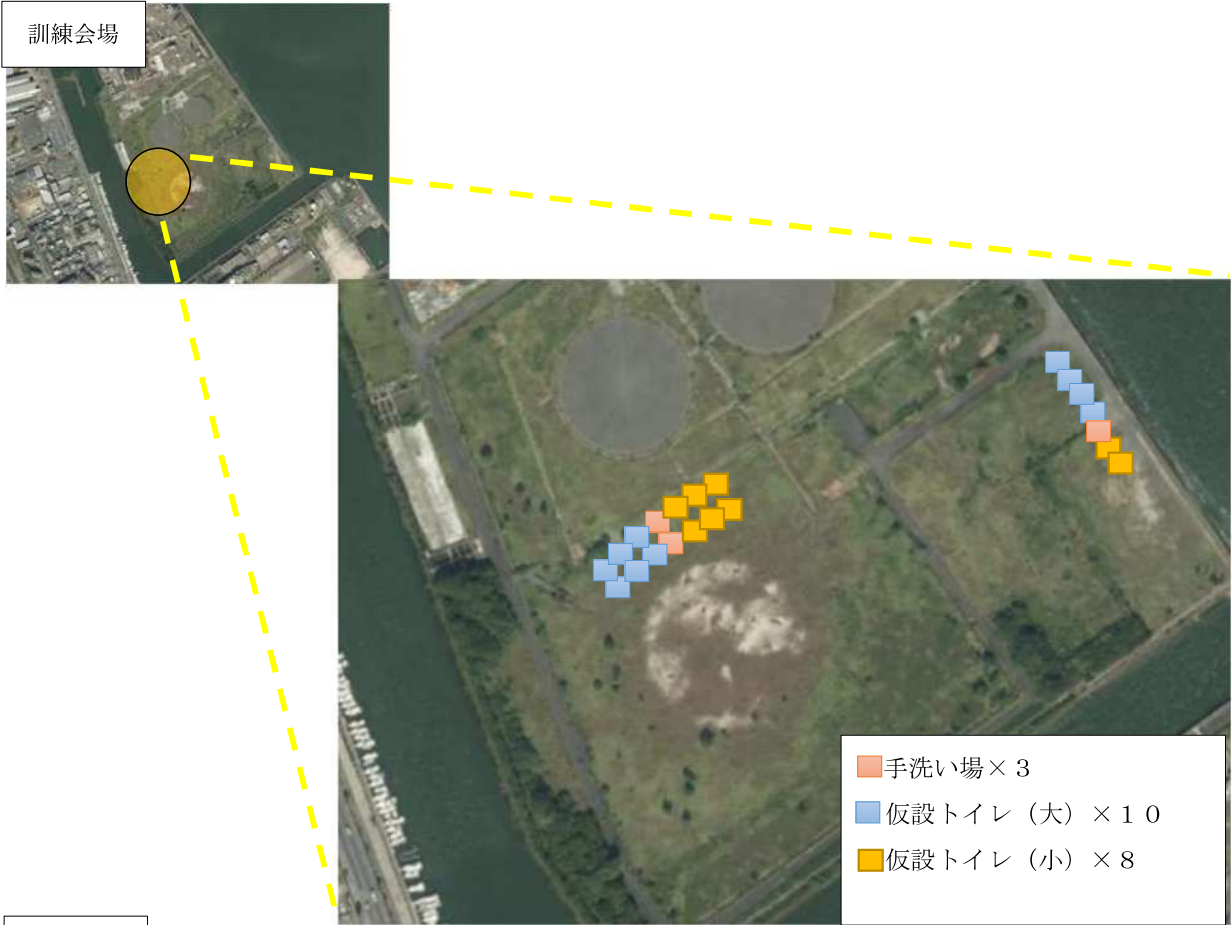


図7 仮設トイレ等位置図（唐津会場）





- 手洗い場 × 1
- 仮設トイレ (大) × 2

図8 仮設トイレ等イメージ図（伊万里会場）



使用資材等 一覧

品名	サイズ	数量	単位	備考
【唐津会場】				
自立式看板	450mm×1,800mm	17	枚	
自立式看板	900mm×1,800mm	5	枚	
仮設トイレ(大)	洋式	24	棟	処理、補充用水等含む
仮設トイレ(小)		16	棟	処理、補充用水等含む
手洗い器		8	台	補充用水等含む
テント一式	3600mm×5400mm	6	張	テント位置図①～⑥参照
三方幕	3600mm×5400mm	3	張	
机	450mm×1800mm	12	卓	
テーブルクロス		6	枚	
ホワイトボード	1800mm×900mm	6	枚	マーカー付き
テント標示	200mm×400mm	10	枚	名称等は別紙参照
音響一式		1	式	アンプ・スピーカー4 台 マイク2・スタンド1